

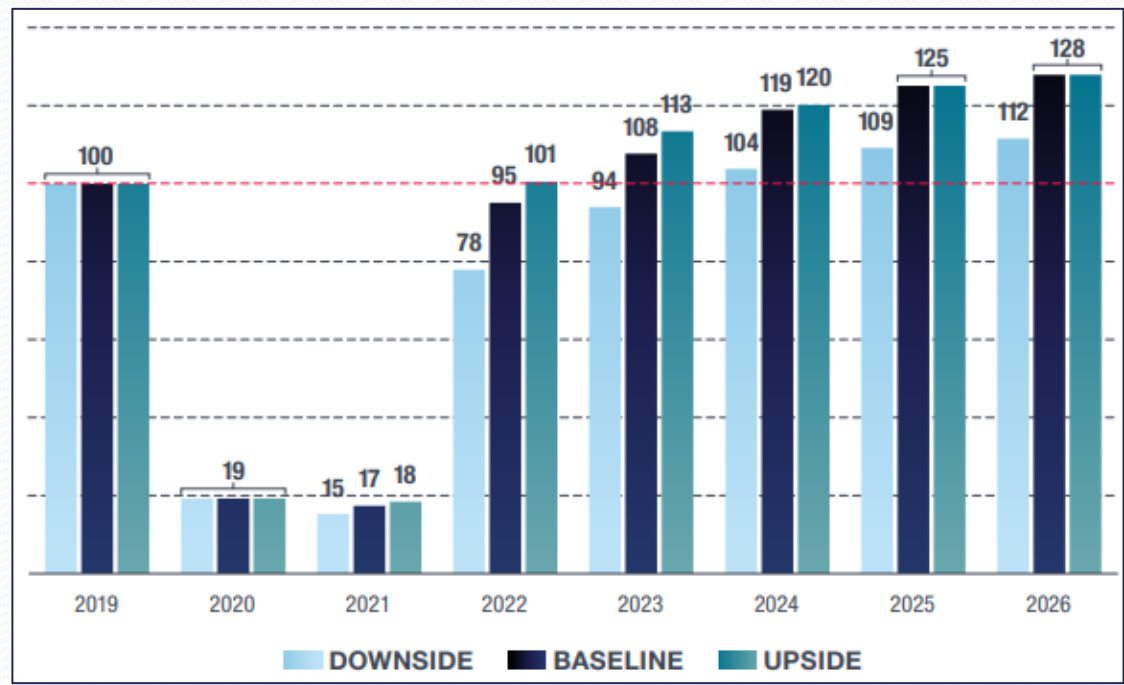
2023年7月31日（月）
瀬戸内クルーズシンポジウム

サステナブルな瀬戸内クルーズ

一般財団法人みなと総合研究財団
クルーズ総合研究所 所長 山本三夫

V字回復している国際クルーズ産業

CLIA:国際クルーズ旅客人口予測



資料：CLIA,Seatrade Cruise,CIN

V字回復原動力⇒消費者（旅客）行動意識変化

国際クルーズ産業の大転換

ゼロカーボンクルーズ

サステナブル旅行

オーバーツーリズム回避

国際クルーズ業界取り組み

**「2050年までに世界的にネットゼロカーボнкуルージングを目指す」
2030年までに炭素排出量を2008年比40%削減**

- ☆ 停泊中および海上での船舶の二酸化炭素排出量の削減
- ☆ 船内の先進的な環境技術への投資
- ☆ 持続可能な目的地管理に関して都市や港と提携する



※ CLIA2022レポートより抜粋

- **LNG（液化天然ガス）燃料を使用する新造船**
新造船全体の61%に上っている
- **陸上電力受給設備を搭載するクルーズ船**
全体の40%に搭載（前年比20%増加）
世界の29の港湾で陸上電力受給可能
- **排気ガス浄化システム（EGCS）**
全体の79%以上がEGCSを利用、大気排出要件を満たしている
LNG燃料船以外の新造船の88%にEGCSが設置
- **高度な廃水処理システム**
全体の78%は高度な廃水処理システムを設置

サステナブルツーリズム

観光客のための観光 ⇒ 地域のための観光

「環境や文化の維持」

**地域の自然環境を守りながら、観光業を活性化させ
地元住民の暮らしを良くしていく**



●環境や文化の維持

- ・ 樹々の伐採やゴミのポイ捨てなどによる環境汚染や自然破壊などにつながる商業化を避け地域の自然や文化を活かした観光地を作る
- ・ 自然が持つ本来の姿を維持し続ける

●地元住人への配慮

- ・ 自然環境を守るだけでなく「地域全体を守る取り組み」も大切なポイント

●伝統文化を守り続ける

- ・ その地域に根付く伝統文化を維持することで本来の地域が持つ景色を維持し続けられる
- ・ 伝統文化を活かして観光業に加えることで、伝統文化を次世代へと受け継ぐ事に繋がる

オーバーツーリズム回避

観光客が増えすぎて地域住民や環境に悪影響を与える

「オーバーツーリズム」の回避

第二次世界大戦の先進国の間で富裕層のたしなみであった観光旅行が大衆へと広まったことに伴い観光客による交通渋滞や大行列、一部観光客のモラル低下等による環境・文化の破壊やゴミ・騒音問題プライバシーの侵害など、さまざまな社会問題が発生した

クルーズ船が寄港した際のオーバーツーリズムが住民の不安感に繋がり、オーバーツーリズム回避対応はクルーズ船受入れの大きな課題となっている



※ベニス：大型クルーズ船入港禁止（2021年8月～）

「持続可能な瀬戸内クルーズ」

●瀬戸内の魅力は昼間航行

無数にある瀬戸内の島々の間を昼間航行
船上から瀬戸内を魅力を満喫してもらう

●夜間航行の回避

船舶の夜間航行は危険が多いので危険を回避する
夜間停泊で地元のナイトライフを楽しんでもらう

●寄港地観光ツアーの工夫

地元の文化や人々とふれあう（交流・体験）
二次交通を使わず徒歩移動を重視する



●航海スピード

燃料消費軽減を図るため低速力で航行

●陸電供給

主要港での陸上電力供給設備を整備

●LNG燃料補給体制

主要港でのLNG燃料を補給する体制を整える

●排水処理装置

主要港での港湾・海洋の汚染を防止

●クルーズ船停留場所選択

岸壁か沖泊か

従来クルーズとの違い

	サステナブルクルーズ	従来クルーズ
航海時間帯	昼間航行	夜間航行
停泊時間帯	夜間停泊	昼間停泊
停泊場所	岸壁・沖泊の選択	岸壁優先
寄港地ツアー	徒歩観光	バスツアー
ツアー造成	着地型観光	発地型観光
寄港地受入	地元と船社協議	船社意向重視

モデルクルーズ船の検討

●リバークルーズ船（ライン川、ドナウ川など）



総トン数：1,700トン 全長：110m 旅客定員：137人

●探検クルーズ船（南極、北極海など）



総トン数：9,900トン
全長：126メートル
旅客定員：200人

モデル乗客：
日本人 100人
外国人 100人

モデルスケジュール 往路（神戸→門司）

行程（例）		寄港地	宿泊地
1日目	朝：神戸港出港、明石海峡大橋下通航、昼：小豆島沖到着/上陸：オーブ、中山千枚田保全活動、中山農村歌舞伎		
	午後：小豆島沖出港、夕方：高松港着岸、（小豆島～高松は船の移動と陸上移動のオプション）	小豆島沖	高松港
2日目	朝：高松港出港、備讃瀬戸航行（瀬戸大橋下通航）、午後：尾道沖到着/上陸：ONOMICHIU2、八木灘エコツアー		
	（尾道～松山間：サイクリング移動オプション）		尾道沖
3日目	朝：尾道沖出港、来島海峡航行（しまなみ海道下通航）、午後：松山港着岸/上陸：道後温泉、大洲		松山港
	（道後温泉：宿泊オプション）		
4日目	朝：松山港出港、夕方：門司港入港/乗客入れ替え		門司港



寄港地でのサステナブルツアー

小豆島



香川県小豆島：
中山千枚田保全活動を学ぶ
(写真：小豆島観光協会)



香川県小豆島：
江戸時代から300年受け継がれる、
中山農村歌舞伎を観る
(写真：所度島観光協会)

尾道



広島県尾道市：
ONOMICHIU2を拠点に
しまなみ海道をサイクリング
(写真：ONOMICHI U2)



広島県尾道市：
スモール瀬戸内海・八木灘エコツアー
(写真：瀬戸内海エコツーリズム協議会)

松山



愛媛県松山市：
日本最古と言われる道後温泉
(写真：道後温泉)

大洲



愛媛県大洲市：
伊予の小京都・大洲を歩く
(写真：大洲市)

モデルスケジュール 復路（門司→神戸）

行程（例）		寄港地	宿泊地
5日目	朝：門司出港、昼：姫島沖到着/上陸、夕方：姫島沖出港、夜：周防大島沖到着/沖合で夕食（みかん鍋、太刀魚）	姫島沖	周防灘沖
6日目	朝：周防大島沖出港、昼：広島入港/上陸（船上生活排水の陸上施設処理）		広島港
7日目	朝：広島出港、昼：御手洗沖到着/上陸：伝建地区、夕方：御手洗沖出港、来島海峡航行（しまなみ海道下通航）		
	夜：今治港着岸/上陸（来島鯛料理）	御手洗沖	今治港
8日目	朝：今治港出港、備讃瀬戸航行（瀬戸大橋下通航）、昼：直島沖到着/上陸、午後：直島沖出港		
	夕方：宇野港着岸/上陸、（直島から宇野港は連絡船利用）	直島沖	宇野港
9日目	朝：宇野港出港、明石海峡大橋下通航、午後：神戸港入港/乗客入れ替え		



寄港地でのサステナブルツアー

姫島村



大分県姫島村：
姫島を小型モビリティで巡る
(写真：大分県姫島村)

周防大島



広島県周防大島：
瀬戸内海に浮かぶ小さな島の手作りジャム屋「瀬戸内ジャムズガーデン」
(写真：株式会社瀬戸内ジャムズガーデン)

大崎下島



広島県大崎下島御手洗：
江戸時代にタイムスリップ・・・御手洗町並散策
(写真：広島県呉市)

直島



香川県直島町：
直島・・・「産廃の島からアート」の島へ」
(写真：香川県直島町)

瀬戸内昼間航行の魅力

- 明石海峡大橋
- 瀬戸大橋
- しまなみ海道

- 備讃瀬戸航行
- 来島海峡航行
- 関門海峡航行



ご清聴ありがとうございました



wave